

ともしび通信

CHRISTMAS BEGINS WITH

Christ



イエス キリストの誕生は次のようであった…

新約聖書・マタイの福音書 1 章 18 節

- こどもクリスマス会 12/11(日)14:00～15:30
- クリスマス 特別Ⅰ礼拝 12/18(日)10:30～11:50
- 礼拝前・特別プログラム **クリスマス・ゴスペルアワー** 10:00～10:30
- 特別Ⅱ礼拝 16:00～17:00
- クリスマイブキャンドル礼拝 12/24(土)19:00～20:00
- クリスマス 礼拝 12/25(日)10:30～11:50

町田バプテスト教会

町田市つくし野 2-31-4 【TEL】042-796-3822

集会のご案内

教会の活動はホームページでもご紹介しています。
<http://goodnews194.com>

日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減になっている顔と心。天を仰いで生きる元気を取り戻して下さい。

毎日曜

Ⅰ礼拝 10:30～11:50

Ⅱ礼拝 16:00～17:00



教会学校（CS）

幼児から大人のクラスで聖書を学んでいます。ジョイジョイサンディを月1回、開催しています。

毎日曜 9:00～10:00

毎月第4日曜

ジョイジョイサンディ
(こども・中高生対象)



水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに礼拝して、メッセージに耳を傾けます。聖書を順番に学んでいるので、聖書を知りたい方に最適です。

毎水曜
19:30～21:00



壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集会や教会カフェ、日帰り温泉などサークル的な活動もあります。

毎月第2日曜
13:30～15:00



婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えている課題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜
13:30～15:00



青年会

大学生から社会人まで、月1回、ともに集まり賛美をし、語り、励まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜
13:30～15:00



子育てサークルハンナの会

ハンナの会は、子育てに疲れたり、悩んでいるママに元気を与える会です。お子さまと一緒に楽しむ時間もあります。昼食付き。

毎月第3火曜
10:30～13:00



トールペイントサークル

賛美とメッセージのひととき。花を描きながら心を解放するひととき。お茶を飲み、語らうひととき。

毎月第1水・金
10:00～12:30



木曜婦人集会

家事、育児、仕事に忙しい女性たちがありのままの自分でいられる場所。希望と勇気が与えられる時。

毎木曜
10:30～12:00
(第2木曜は婦人礼拝)



- ・どの集会も参加自由です。お気軽にお越しください。
- ・質問や相談ごとは、どんなことでもお尋ねください。
- ・送迎の必要な方は、ご遠慮なくご連絡ください。

編集後記

「ともしび通信 83 号」(クリスマス号)をお届けします。教会では、4つの特別プログラムを開催します。教会壁にイルミネーションも点灯しますよ。ぜひクリスマスは、教会へ足をお運びください！



単立 町田バプテスト教会

町田市つくし野 2-31-4
042-796-3822

●<http://goodnews194.com>

●[mail:machida@church.email.ne.jp](mailto:machida@church.email.ne.jp)



救い主イエス・キリストの誕生の次第

牧師室より 松本俊雄 牧師



新約聖書・マタイの福音書冒頭に、「アブラハムの子孫、ダビデの子孫、イエス・キリストの系図。アブラハムにイサクが生まれ、イサクにヤコブが生まれ、ヤコブに・・・と、長いカタカナの名前の系図が続きます。多くの方々が聖書に何かの興味を持って読み始めても、残念ながらこの部分で飽きてしまひ止めてしまうことがあります(実は私もその一人でした)。後で、信仰を持つてから改めて読みますと、この一見無味乾燥のように思えるカタカナの名前の羅列に、大変大きな人生を変える鍵が書いてあることに気付かされていま

まず一つ目に、系図がある事は、イエス・キリストの誕生が架空の出来事ではなく、歴史的事実であることと聖書に固有名詞が出てくることは歴史的事実を意味します。二つ目に、数千年にわたって信仰によって続いた系図には、偶然の出来事ではなく神の救いの計画にあるということが証明されています。

人生を変えるのは、最終的には理想や観念ではなく事実です。神を信じるとは、歴史を造り、支配しておられる神の存在を認め、神の計画に自分の人生を合わせることです。そこに本当の平安と幸いがあります。

今年のクリスマス、教会に集われ、歴史的事実として人となられた神であるイエス・キリストを知り、すべての人が信仰によって与えられる平安と幸いを得てほしいと願っています。

Voice Of Chapel 加藤信行 伝道師

賛美(歌)は自分の心を知るリトマス紙

私は小さい頃から、教会で賛美に親しむ生活をしていましたから、歌うことが大好きです。上手と言えなくても遠慮なく大きい声を出すわけですが、ふと気づかぬうちに目に涙がたまっていることがあります。驚くことがあります。

今年、教会ではクリスマスの特典企画として「ゴスペルアワー」を行います。ゴスペルはもとも奴隷として過酷な生活を強いられていたアメリカの黒人クリスチャンたちによって、歌われていた「神への賛美」と「助けを求める叫び(歌声)」が起源になったそうです。

彼らは心からの思いをもって叫んだのでしようが、賛美、すなわち神さまをどうしてほめたたえられたのかは、不思議です。

でも私も賛美をしている時に感じますが、頭では理解ができない心の中にある思いが、その歌とリンクする時、はじめて自分がわかることがあります。涙には意味があるのです。

想像ですが、救いを求めると同時に、それを歌う彼らの心には「神様は必ず自分を見捨てない」という思いがあふれているのではないのでしょうか。歌っているうちにそれがわかり、続いて出てきたのは高らかな賛美！



私的映画批評

「ぼくたちの家族」

2014年 日本作品

松本勇哉

「俺さ、悪あがきしてみるよ」

重度の物忘れで病院の検査を受けた母は、末期の脳腫瘍で余命1週間と宣告される。残されたのは、見栄っ張りな父、元引きこもりの兄、大学留年中の弟。母の病気に隠れていた家庭内の問題が次々と表面化してくる。

この作品は、家族映画だ。それだけに、4人の俳優の演技力が求められ、そして見事に演じ切られている。この作品が「家族」映画として、評価されたのはそのおかげだろう。開始25分の父の演技に引きこまれる。ただ、もう一つ。冒頭の兄の言葉である「悪あがき」も観てほ



しい。自分が30代になって気づいたが、年齢を重ねることに上手いくことより、上手くないことの方が増えてくる。そんな時、今よりも状況を良くするためには「悪あがき」してばっかりだ。

聖書には、決してあきらめない人が多いことを思い出した。一番有名なのはパウロだろうか。パウロのようにはないが、これから「悪あがき」をするのも悪くないと思うた。

どこにでもいる兄弟の「悪あがき」の結果は・・・開始1時間25分後にわかります。

★この映画をオススメする方★
悪あがきしてばかりの人、涙腺が弱い人

婦人会リレーアナタに出会えて嬉しい



清水千鶴子

信仰の種を、私の心にまいてくれたのは、明治生まれの祖母でした。その影響は、私より十二才年下の妹多寿子にも及びました。忙しい母を助けて、私は、多寿子の世話を毎日していました。

三才くらいから、多寿子はいっしょに教会学校に通い、幼いながら心から神様を信じていました。「日々の糧を与え給う、恵みの御神は、ほむべきかな」と食前の感謝の歌をいつも家族をリードして歌っていました。

多寿子が四歳の夏、疫病にかかって急死しました。

我が子のように、かわいがっていた私は、悲しみに打ちひしがれていました。教会に行く、どこかに多寿子がいて会えるような気がしました。

「多寿子さんは、きっと天国でイエス様のおそばにいますよ。聖書には、次のように書いてあります。『イエスは言われた。わたしはよみがえります。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。』(ヨハネの福音書11章25節)」と牧師先生に言われ、私は心からイエス様を信じ、洗礼を受ける決心をしました。高校二年生のイースターでした。

神様が、祖母や妹を通して導いてくださったおかげと、六十数年経った今、人生の嵐から守られ、試練も乗り越えることができただのと、感謝の気持ちでいっぱいです。

シリーズ 私のお気に入り

My favorite



小川潔

私はDIY(DIY your self)をモットーにしている。

そのフィニッシュは広く、日曜大工(ウッドデッキからベッド、本棚まで)、家の補修(壁穴の補修、混合水栓の修理、ドアホンの修理など)、TVアンテナの取付、自動車いじり(カーナビの取付、钣金塗装、オイル交換)、オーディオ(スピーカー、真空管アンプ)など、趣味が高じていつの間にかプロに近い領域まで踏み込んでしまった。

ちなみに教会でも営繕係を担当しており、

最近では、屋根の十字架建て替えや会堂の扉をダイノックシートでリフォームさせて頂いた。十字架はウッドデッキの経験を活かし、NEXのWRC材を金具で十字に組み、ステインで塗装。

ダイノックシートは自動車の内装カステマイズで経験があるが、これだけの大きさでは初めてだったので完成に数か月を要した。これらは教会の壮年会メンバーにもお手伝い頂いている。

また、DIYの経験はブログでも公開しており、特にドアホン修理は参考にしてお実践された方からの感謝のコメントが後を絶たない。

ところで、イエスキリストは大工でもあった。日曜大工をしながら、イエスキリストの歩みを、追体験できるのは感謝なことである。